



東北労働金庫
「お客さま本位の業務運営」
に関する取組状況報告
(2023年3月末)

顧客本位の業務運営に関する原則			
原則1	原則2	原則3	原則4
原則5	原則6	原則7	KPI

1.『お客さま本位の業務運営に関する取組方針』の策定・公表

- 〈東北ろうきん〉(以下、当金庫)は、お客さま本位の業務運営強化に向けて、金融庁が2017年3月に公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」(以下、取組方針)を策定・公表しております。
- また、当金庫では取組方針をより実効性のあるものとするため「アクションプラン」を自主的に策定しております。
- 策定した取組方針ならびにアクションプランに対する2022年度の取り組み状況および成果指標(KPI)について報告いたします。

〈アクションプラン〉

- ディスクロージャー誌において、当庫をよりわかりやすくお伝えするための誌面づくりを目指します。
- PDCAサイクルを実践し、業務運営に改善を活かすとともに、取組状況については年度ごとに公表してまいります。

【金融庁】 顧客本位の業務運営に関する原則	【当金庫】 お客さま本位の業務運営に関する取組方針	対応 ページ
原則1【顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表】	1.『お客さま本位の業務運営に関する取組方針』の策定・公表	P2
原則2【顧客の最善な利益の追求】	2.お客さまの生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取組み	P3
原則3【利益相反の適切な管理】	3.利益相反を適切に管理する取組み	P5
原則4【手数料等の明確化】	4.手数料等に係る情報提供の取組み	P6
原則5【重要な情報の分かりやすい提供】	5.お客さまの立場に立ったわかりやすい情報提供の取組み	P7
原則6【顧客にふさわしいサービスの提供】	6.お客さま一人ひとりに合った最適なサービス提供の取組み	P8
原則7【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】	7.「ろうきんの理念」の職員への定着と実践に向けた取組み	P9
共通KPI		対応 ページ
8.「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づく比較可能な共通KPI		P10

顧客本位の業務運営に関する原則			
原則1	原則2	原則3	原則4
原則5	原則6	原則7	KPI

2.お客様の生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取組み

〈アクションプラン〉

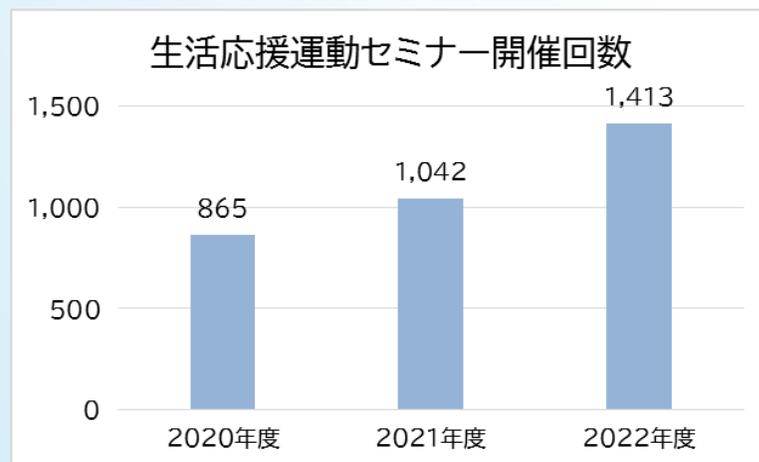
- お客様の資産形成をサポートするため、生活応援運動を展開しながら、お客様一人ひとりのライフステージやニーズに沿った商品・サービスを提供いたします。
- 職域セミナーなどで、お金に関する問題やライフプランに役立つ情報等を提供いたします。
- 各県に資産運用の専担者である「アセットプランナー」を配置し、お客様一人ひとりに合ったアドバイスや適切なコンサルティングを提供します。

(1)生活応援運動セミナーの開催状況

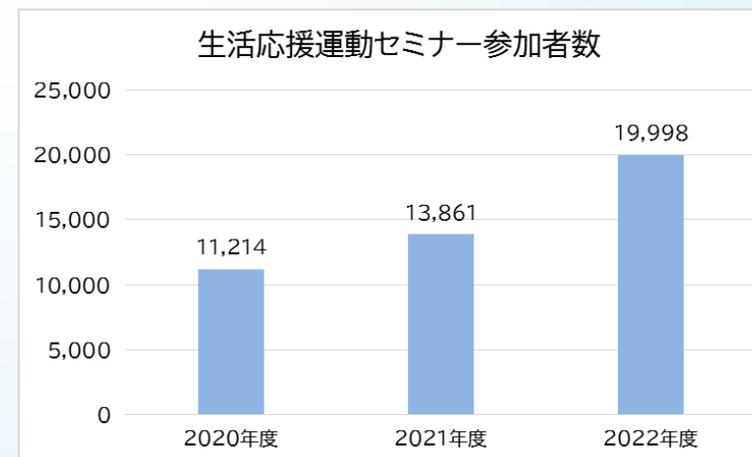
○コロナ禍で対面・集合形式でのセミナー開催が制限される中、会員・組合員の皆さまのご協力のもと、当金庫では「生活応援セミナー」を開催しています。

○生活応援運動では「生活設計・生活防衛・生活改善」の3つのサポートを運動の柱とし、お金にまつわる諸問題の具体的解決に向けて取り組みを進めており、2022年度は当該セミナーを1,413回開催し、延べ19,998人が参加しています。

(単位:回)



(単位:人)



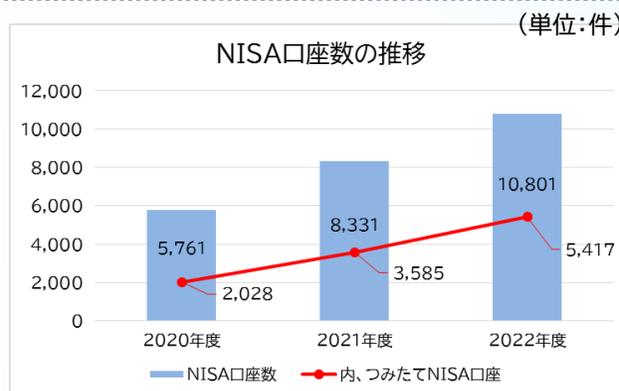
2.お客様の生活を生涯にわたってサポートしていくことを第一に考えた取組み

(2)投資信託・iDeCo

○お客様のライフプランや取引目的・ニーズに応じ、一人ひとりに適した資産形成・資産運用のご提案を行いました。

○2022年度は投資信託の販売額は前年比で減少するも、投資信託残高は順調に増加しております。

○税制面での優遇があり、中長期で積立運用を行うことが出来る「つみたてNISA」ならびに長期で資産形成を行う「iDeCo」について丁寧に説明を行い、契約者数は年々増加しています。



(3)アセットプランナーの配置

○資産運用の専担者として、2023年度よりアセットプランナーを23店舗に配置しています。

	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
1	青森支店	盛岡支店	本店営業部	秋田支店	山形支店	福島支店
2	八戸支店	釜石支店	新塩釜支店	大館支店	米沢支店	平支店
3	弘前支店	北上支店	古川支店	大曲支店	鶴岡支店	郡山支店
4	—	奥州支店	長町支店	—	村山支店	若松支店
5	—	—	—	—	—	白河支店

顧客本位の業務運営に関する原則			
原則1	原則2	原則3	原則4
原則5	原則6	原則7	KPI

3.利益相反を適切に管理する取組み

〈アクションプラン〉※取組方針3,4,5共通

- お客さまに商品内容や手数料等をご理解いただけるよう、パンフレット等の見直しを行ってまいります。
- 会員組合等からの要請に基づき企業型確定拠出年金の加入者教育講師を派遣し、参加者に分かりやすい説明を行います。
- 確定拠出年金セミナーを開催し、投資教育を含めた確定拠出年金の情報提供を行います。

○利益相反取引については、「利益相反管理方針」を定め、ホームページ上で公開するとともに、内部規程を整備し適切に管理しています。

○当金庫にて取り扱う投資信託の商品は、業態の中央機関である労金連合会において、販売する商品の基本的な利益(リターン)、損失その他のリスク、取引条件、選定理由、手数料水準等が適切なものであることを確認し、利益相反の管理も含め審議・選定されたものの中から、当金庫が適切性を審査したうえで選定しています。

○ろうきん業態内に投資信託その他金融商品の提供会社や運用会社は存在しないため、お客さまに業態内の商品を優先して推奨・販売するなどの利益相反は発生しません。

顧客本位の業務運営に関する原則			
原則1	原則2	原則3	原則4
原則5	原則6	原則7	KPI

4.手数料等に係る情報提供の取組み

〈アクションプラン〉※取組方針3,4,5共通

- ▶ お客さまに商品内容や手数料等をご理解いただけるよう、パンフレット等の見直しを行ってまいります。
- ▶ 会員組合等からの要請に基づき企業型確定拠出年金の加入者教育講師を派遣し、参加者に分かりやすい説明を行います。
- ▶ 確定拠出年金セミナーを開催し、投資教育を含めた確定拠出年金の情報提供を行います。

○当金庫では、投資信託における商品間の手数料を容易に比較出来るよう「東北ろうきん投資信託ラインナップ(以下、投資信託ラインナップ)」をご用意しております。また、ホームページ上でも各商品の手数料をご確認いただけます。

○投資信託のご提案に際しては、「投資信託ラインナップ」や「重要情報シート」等を用い、わかりやすい説明に努めています。

2 リスクを相対的に小さくし、安定した利回り・分配金を重視する。

海外債券 1 コーポレート・ボンド・インカム
(毎月分配型)
(毎月17日配当)

● 商品の特徴
海外債券の中でも安定した配当と利回りを実現し、安定した利回り・分配金を重視する。投資対象は主に米国、日本、欧州の企業債。

● 主要リスク
為替リスク

● 手数料
信託報酬: 2.00%
管理費: 1.00%
運用費: 0.90%

● 購入価格
100円

海外債券 2 高格付け債券ファンド
(毎月分配型)
(毎月17日配当)

● 商品の特徴
日本でも高格付けの海外債券に投資し、安定した利回り・分配金を重視する。投資対象は主に米国、日本、欧州の企業債。

● 主要リスク
為替リスク

● 手数料
信託報酬: 2.00%
管理費: 1.00%
運用費: 0.90%

● 購入価格
100円

3 相応のリスクはあっても、確上り益と分配金の両方を重視する。

海外債券 3 DIAM高格付けインカム・オープン
(毎月分配型)

● 商品の特徴
高格付けの海外債券に投資し、安定した利回り・分配金を重視する。投資対象は主に米国、日本、欧州の企業債。

● 主要リスク
為替リスク

● 手数料
信託報酬: 1.00%
管理費: 1.00%
運用費: 0.90%

● 購入価格
100円

海外債券 4 グローバル・ソブリン・オープン
(毎月分配型)

● 商品の特徴
高格付けの海外債券に投資し、安定した利回り・分配金を重視する。投資対象は主に米国、日本、欧州の企業債。

● 主要リスク
為替リスク

● 手数料
信託報酬: 1.00%
管理費: 1.00%
運用費: 0.90%

● 購入価格
100円

04 ファンドのタイプ別分類

国内債券 7 三井住友グローバル・インカム
(毎月分配型)

● 商品の特徴
海外債券の中でも安定した配当と利回りを実現し、安定した利回り・分配金を重視する。投資対象は主に米国、日本、欧州の企業債。

● 主要リスク
為替リスク

● 手数料
信託報酬: 2.00%
管理費: 1.00%
運用費: 0.90%

● 購入価格
100円

国内債券 8 東洋海上・円資産バランスファンド
(毎月分配型)

● 商品の特徴
海外債券の中でも安定した配当と利回りを実現し、安定した利回り・分配金を重視する。投資対象は主に米国、日本、欧州の企業債。

● 主要リスク
為替リスク

● 手数料
信託報酬: 2.00%
管理費: 1.00%
運用費: 0.90%

● 購入価格
100円

63件 1件~63件表示

進捗状況が比較できる

主眼に追加表示 ON OFF

株式投資-会社情報

銘柄	利用可能額	取引方法	積立	信託報酬 (年率)	信託報酬 (日)	購入価格
1 北カントリー 国内債券	0.00%	0.00%	0.00%	0.154%	0.00%	AM+0ne
2 北カントリー 日投225	0.00%	0.00%	0.00%	0.143%	0.00%	AM+0ne
3 インフラファンド225	2.20%(元割2.00%)	2.20%(元割2.00%)	0.572%以内			日投

重要情報シート (個別商品編)

世界資産3分法ファンド(不動産・債券・株式) 毎月分配型

1 商品等の内容 (本商品は、総合的な資産運用を行い、安定した利回り・分配金を重視する。)

2 リスクと費用 (本商品は、相対的にリスクが低めです。)

3 費用 (本商品の購入又は保有には、費用が発生します。)

6

顧客本位の業務運営に関する原則			
原則1	原則2	原則3	原則4
原則5	原則6	原則7	KPI

6.お客さま一人ひとりに合った最適なサービス提供の取組み

〈アクションプラン〉

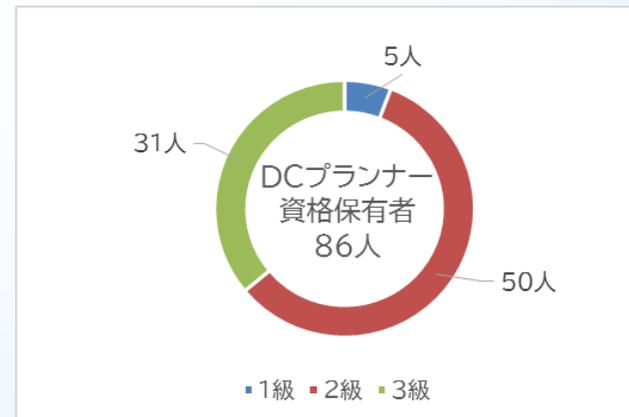
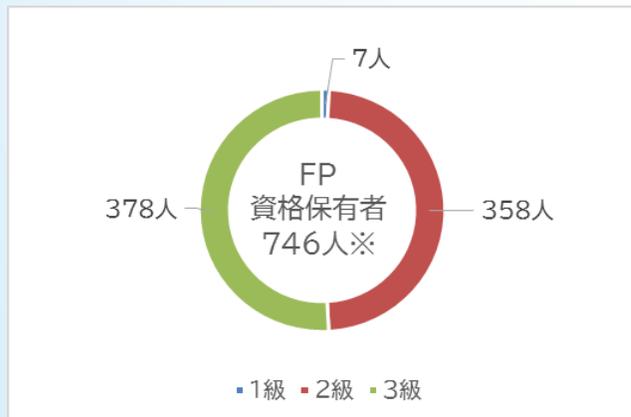
- お客さまの多様なニーズにお応えする適切かつ確かなコンサルティングを提供できるよう職員のスキルアップを図ります。
- 高度かつお客さまにとってふさわしい金融サービスを提供するため、職員の各種資格取得推進をめざし、商品提案・説明手法の高度化を進めます。
- 接遇対応の向上を図るため、当庫各種研修に「ビジネスマナー」「コミュニケーション」に関するカリキュラムを組み入れます。

○お客さまの資産状況や金融商品の取引経験、商品知識および取引目的、ニーズ等を丁寧に確認させていただき、お客さまに最適な商品・サービスの提供に努めております。複雑またはリスクの高い金融商品を販売する場合や、投資経験の少ないお客さまやご高齢のお客さまに対して金融商品の販売・推奨を行う場合には、より丁寧な説明や意思確認を行っております。

○お客さまに最適なアドバイスと情報提供ができるよう職員のスキルアップを図っており、2022年度末現在、FP(ファイナンシャル・プランナー)資格保有者は746人、DC(確定拠出年金)プランナー資格保有者は86人となっております。

○当金庫内の研修では、全職員を対象としたCS研修や新入職員を対象としたビジネスマナー研修を組み入れるなど、接遇向上を図る取組みを行っております。

○なお、当金庫は金融商品の組成に携わっておりません。(2023年3月末現在)



※ファイナンシャル・プランナー資格保有者数は、CFP 1名、AFP 2名を含みます。

CFP: サーティファイド・ファイナンシャル・プランナー

AFP: アフィリエイテッド・ファイナンシャル・プランナー

7. 「ろうきんの理念」の職員への定着と実践に向けた取組み

〈アクションプラン〉

- 「ろうきん理念」の職員への定着化に向けて、全国労働金庫協会研修への職員派遣と、当庫各種研修カリキュラムに「理念研修」を組み入れます。

○「ろうきん理念」の職員への定着化、実践に向けて当庫内の新入職員および入庫2年目の職員を対象とした研修にカリキュラムを組み入れています。

○各階層職員に対しては、全国労働金庫協会の「理念研修」を組み入れた各種研修へ職員を派遣しております。

○「お客さま本位の業務運営」の実践に向けて、各種研修を実施しております。

「ろうきん理念」等に関する研修

研修形態	研修名	回数	受講者数 (延べ)
庫内研修	新入職員研修	1回	36名
	基礎研修STEP1	1回	24名
協会研修 (派遣)	若手職員理念研修	4回	15名
	全国ろうきん監督職研修	2回	3名
	全国ろうきん管理職研修	2回	4名
	全国ろうきん店長研修	2回	4名

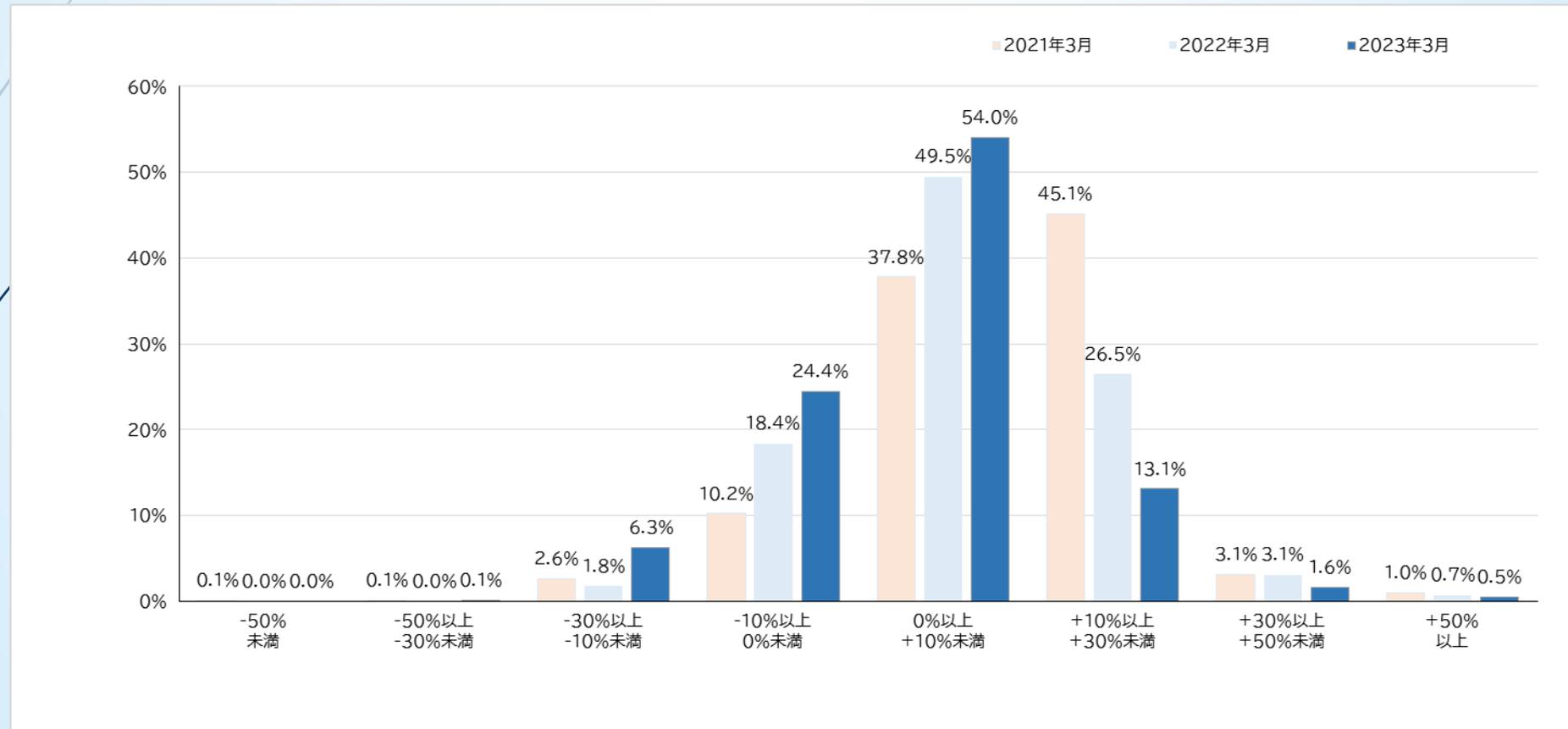
「お客さま本位の業務運営」等に関する研修

研修名	回数	受講者数 (延べ)
投資信託販売実務研修	1回	340名
投資信託研修会	1回	331名
お客さま本位の投信販売スキルアップ研修	1回	13名
アセットプランナー基礎研修	1回	27名

8. 「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づく比較可能な共通KPI

(1) 投資信託運用損益別顧客比率

2023年3月末時点の当金庫投資信託をお持ちのお客様の運用損益別比率データです。運用損益率がプラス(0%以上)の顧客比率は69.2%となっています。



8. 「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づく比較可能な共通KPI

(2) 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

投資信託預り残高の上位20銘柄と各銘柄のコスト・リスク・リターンの一覧です。なお、設定後5年以上経過している投資信託※を対象としております。

※DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除きます。

2023年度

(単位:%)

投資信託預り残高上位20銘柄の一覧

2023年03月末時点

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.38	10.14	5.23
2	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49	9.16	3.25
3	たわらノーロード 先進国株式	0.11	17.99	13.54
4	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.22	18.52	11.13
5	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.14	3.76	-0.89
6	インデックスファンド225	1.01	17.06	7.03
7	のむらっぴ・ファンド(普通型)	1.57	9.46	5.40
8	ニッセイ健康応援ファンド	2.05	16.46	1.21
9	たわらノーロード 日経225	0.19	17.07	7.40
10	のむらっぴ・ファンド(積極型)	1.74	13.28	8.06
11	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.97	16.30	10.59
12	ニッセイ/パトナム・グローバルバランスオープン(標準型)	1.87	8.60	2.92
13	つみたて8資産均等バランス	0.24	10.59	5.32
14	トレンド・アロケーション・オープン	1.51	7.76	-3.52
15	eMAXIS NYダウインデックス	0.66	18.21	12.71
16	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91	4.78	2.16
17	eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルター)	0.55	9.85	5.16
18	グローバル・ハイクオリティ・成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.53	20.40	10.03
19	ダイワ・US-REIT・オープン(年1回決算型)為替ヘッジなし	2.16	18.64	11.19
20	インデックスファンド Jリート	1.05	15.01	4.42

※コスト=販売手数料率の1/5+信託報酬率

リスク=過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

リターン=過去5年間のトータルリターン(年率換算)

2022年度

(単位:%)

投資信託預り残高上位20銘柄の一覧

2022年03月末時点

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.49	8.69	4.26
2	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.38	9.44	6.67
3	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.14	3.60	0.21
4	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.22	16.80	12.36
5	インデックスファンド225	1.01	16.44	9.51
6	ニッセイ健康応援ファンド	2.05	16.58	6.79
7	たわらノーロード 先進国株式	0.11	17.04	15.31
8	たわらノーロード 日経225	0.19	16.45	9.86
9	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.97	15.96	10.14
10	ニッセイ/パトナム・グローバルバランスオープン(標準型)	1.87	8.36	4.08
11	トレンド・アロケーション・オープン	1.51	7.83	-0.80
12	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91	4.37	2.54
13	インデックスファンド Jリート	1.05	14.88	5.82
14	グローバル・ハイクオリティ・成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.53	17.94	17.26
15	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	1.43	6.17	4.56
16	eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルター)	0.55	9.32	6.58
17	ダイワ・US-REIT・オープン(年1回決算型)為替ヘッジなし	2.16	16.92	12.44
18	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)	2.18	18.26	9.87
19	eMAXIS NYダウインデックス	0.66	17.02	14.53
20	世界三資産バランスファンド(毎月分配型)	1.54	6.53	5.31

8. 「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づく比較可能な共通KPI

(2) 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

投資信託預り残高の上位20銘柄と各銘柄のコスト・リスク・リターンの一覧です。なお、設定後5年以上経過している投資信託※を対象としております。

※DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除きます。

2021年度

(単位:%)

投資信託預り残高上位20銘柄の一覧

2021年03月末時点

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型(財産3分法)	1.49	8.66	5.95
2	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)(円奏会(年1回決算型))	1.14	3.46	0.59
3	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型(世界の財産3分法)	1.38	9.39	5.24
4	ニッセイ健康応援ファンド	2.05	15.67	10.19
5	インデックスファンド225	1.01	16.58	13.25
6	トレンド・アロケーション・オープン	1.51	7.25	-1.33
7	ニッセイ/バトナム・グローバルバランスオープン(標準型)(ゆめ計画50)	1.87	8.71	4.78
8	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	2.22	16.06	5.50
9	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(健次)	2.97	15.93	8.55
10	たわらノーロード日経225	0.19	16.59	13.60
11	たわらノーロード先進国株式	0.11	17.16	13.20
12	ファイン・ブレンド(毎月分配型)	1.91	4.14	1.93
13	インデックスファンドJリート	1.05	14.17	4.57
14	世界三資産バランスファンド(毎月分配型)(セッション)	1.54	6.96	3.30
15	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)(花こよみ年1)	1.43	5.74	4.42
16	DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)(世界家主倶楽部)	2.18	17.31	3.79
17	eMAXIS最適化バランス(マイミッドフィルダー)	0.55	9.37	6.16
18	朝日ライフSRI社会貢献ファンド(あすのはね)	2.62	15.83	7.80
19	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)(ハッピークローバー)	1.43	7.14	1.76
20	ダイワ・US-REIT・オープン(年1回決算型)為替ヘッジなし	2.16	16.18	5.56

※コスト=販売手数料率の1/5+信託報酬率

リスク=過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

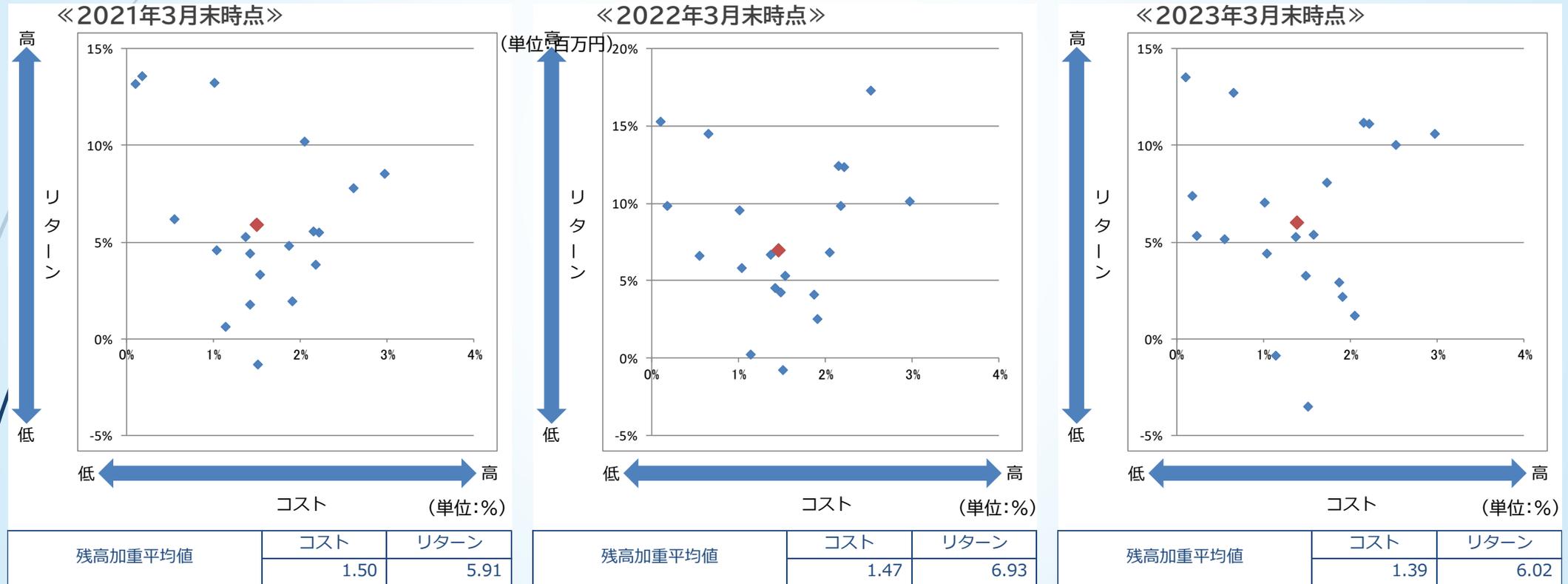
リターン=過去5年間のトータルリターン(年率換算)

8. 「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づく比較可能な共通KPI

(3) 投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

(2)の預り残高上位のコストとリターンの関係を表した散布図です。

図中の◆が残高過重平均値であり、2023年3月末時点で平均コスト(1.39%)を上回る平均リターン(6.02%)となっています。



※コスト=販売手数料率の1/5+信託報酬率

リターン=過去5年間のトータルリターン(年率換算)

8. 「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づく比較可能な共通KPI

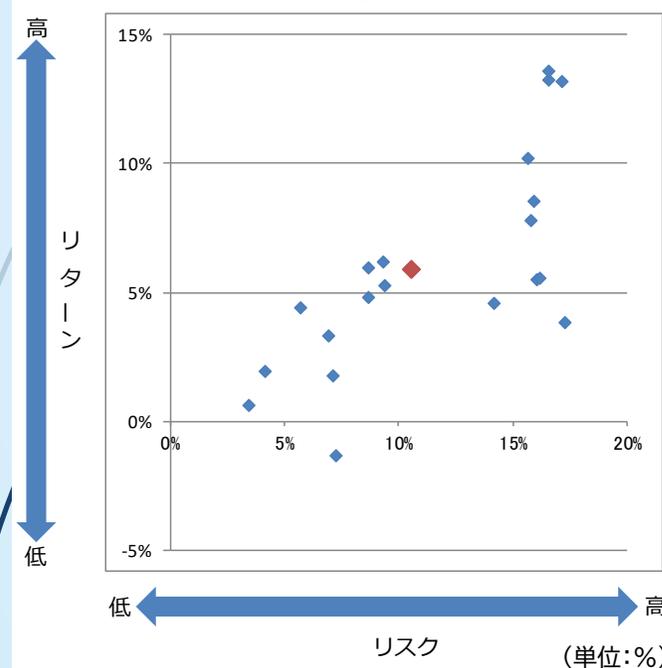
(4) 投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

(2)の預り残高上位のリスクとリターンの関係を表した散布図です。

図中の◆が残高加重平均値であり、平均リスクが上昇し平均リターンが減少したことから、効率的な運用を示す指標であるシャープ・レシオ※は前年同月から減少(0.59⇒0.47)しました。

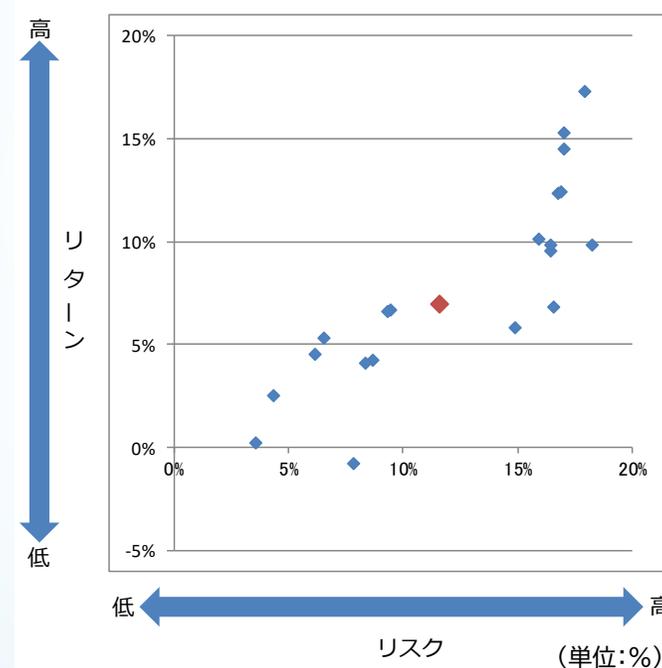
※シャープ・レシオ…リスクに対するリターンの割合を測るもので、数値が高いほど効率よく収益が得られたことを意味します。(リターン÷リスク)

《2021年3月末時点》



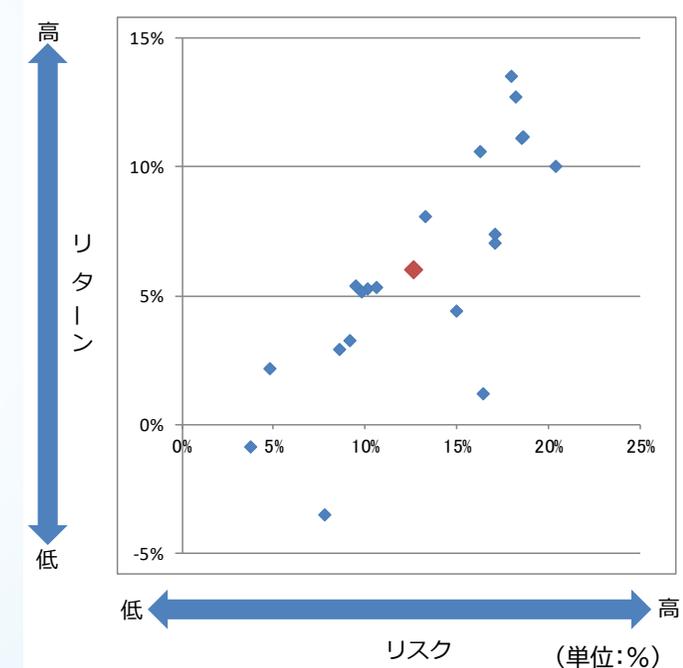
残高加重平均値	リスク	リターン
	10.58	5.91

《2022年3月末時点》



残高加重平均値	リスク	リターン
	11.61	6.93

《2023年3月末時点》



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.68	6.02

※リスク = 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

リターン = 過去5年間のトータルリターン(年率換算)